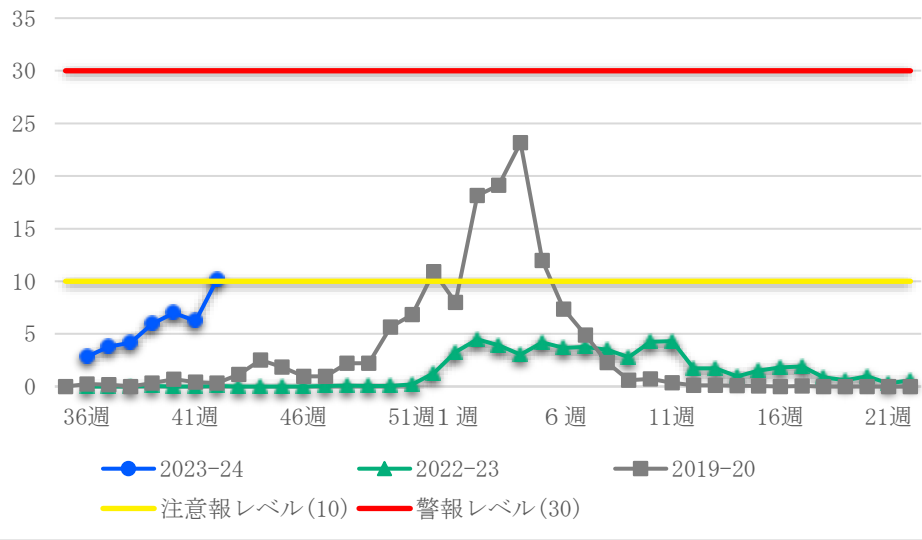


(令和5年10月27日発表)

インフルエンザが例年より2か月ほど早く注意報レベルになりました！

<p>◆アピールポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・例年より早く本格的な流行が生じる可能性があることに注意が必要です。(例年は12月下旬から1月上旬が多い) ・今後は流行の拡大、長期間持続も考えられますので、感染拡大防止対策に努めましょう。 ・受験生や高齢者など、身近にこのような方がいらっしゃる場合は特にご注意いただくとともに、予防接種を受けることをご検討下さい。 						
<p>◆内容など</p>	<p>令和5年第42週(10月16日～10月22日)にインフルエンザの市内定点医療機関当たりの患者数が「10.20人」となり、注意報レベルの基準値「10人」を上回りました。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">40週 (10/2～10/8)</td> <td style="padding: 5px;">41週 (10/9～10/15)</td> <td style="padding: 5px;">42週 (10/16～10/22)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">7.00</td> <td style="padding: 5px;">6.24</td> <td style="padding: 5px;">10.20</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●インフルエンザの流行状況は、あらかじめ定められた医療機関(定点医療機関25施設)から、1週間に受診したインフルエンザの患者数を報告してもらい、1定点医療機関当たりの患者数で評価します。 ●流行開始の目安とされている報告数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。 <p style="text-align: center;">下記ホームページをご参照ください。 https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_003624.html</p>	40週 (10/2～10/8)	41週 (10/9～10/15)	42週 (10/16～10/22)	7.00	6.24	10.20
40週 (10/2～10/8)	41週 (10/9～10/15)	42週 (10/16～10/22)					
7.00	6.24	10.20					

インフルエンザ 定点医療機関あたりの報告数 5年間の比較



※2020-21 シーズンと 2021-22 シーズンは新型コロナウイルス感染症の影響で検査件数が極端に少ないため、集計の対象外としており、グラフに記載はありません。

●インフルエンザは突然の高熱、頭痛、関節痛など、普通の風邪に比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し重症化することがあるため、高齢者や乳幼児などは特に注意が必要です。

●インフルエンザの感染拡大防止対策には以下の対策が有効です。

- ・手洗いや咳エチケットの励行
- ・適度な湿度保持
- ・人混みや繁華街への外出を控える
- ・こまめな換気

●新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響でインフルエンザの流行が低調であったこと等の影響で、A（H1N1）亜型や A（H3N2）亜型の抗体の保有割合が全年齢で低下傾向にあること等から、インフルエンザの流行が起こりやすい状況にあると考えられます。（国通知より引用）

●インフルエンザによる学級閉鎖数等(令和5年第42週(10/16～10/22)時点)

休校数		学年閉鎖学校数		学級閉鎖学校数	
今週	累計	今週	累計	今週	累計
2	2	3	7	15	64

別紙資料 無

【問合せ】 保健所保健予防課（葵区域東町
城東保健福祉エリア保健所棟2階）
担当 酒井、河村、菅原
電話 054-249-3172